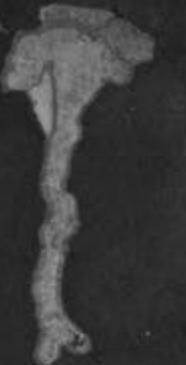


正改
眼
目
明



×
9 | 3

F
カ-114

490.91
G2-8
2

No. 1581
9/13

眼形明鑑卷之四

目錄

日 雜治內瘻

二 雜治外瘻

三 橋繩

四 洗藥

五 塗藥

六 吸裁

七 蒸藥

八 澄藥

九 翳膜法

十 通治

十一 眼虫擦燭法

十二 眼見分

十三 慢血濁下法

十四 陰陽眼論

十五 寒熱辨義



高士川文庫

1072



付寒補熱泻、治不治辨論

四李根養

肥瘦分別

附名鹿實

食物宜禁

内外通禁

發法

內瘡鍼

切膜口傳

血脉切分

血眼取血法

溫熱鍼

目錄綱

眼目明鑑卷之四

龍治內療



風邪ニ中テズト雖尼暴ニ眼ア

カク痛ニハ

黃連ニク

芩クモガタ二味入黃イロハ一公

山梔セザン一枝

葛カモハ少

右煎セツレ服ス

○風邪ニ中リテニアハカニ雖ア

カクウソ腫潤多キニハ

菊花ニ分防風

一分石菖セキショウ一分

獨活ニ分藜草

少

右水煎セツノ服ス或ハ數毒散サツゼン主ヒ

○眼赤モモチクニハカニ腫潤多キハ

風邪肝カシノ藏ザクニ有ナリ

慈濟シセイ 小

白芷ハイジ 中

當歸ドウキ 小

黃連ワラビン 中

升麻セイマ 中

棘刺シキ 中

防風ボウフウ 中

川芎カクヨウ 小

山梔サンボク 小

芍藥カクテイ 中

酒芩ショウゼン 中

葛根カクシン 中

右煎眼シヤクエン 或ハ漏肝湯ルウカンヂヤウ 擦雲散サツウンサン

花散カクサン コレノ主ヌメル ル

○飲食酒イニシヤウ 毒二傷ドクニジョウ ラレテ或ハ肝カミ

熟シテ 眼エン 赤クウソ腫痛ツウントウ ムニ

黃芩カクゼン 一分紫胡サイフ 一分黃連ワラビン 一分

菊花カクハ 一分防風ボウフウ 一分甘草カンゾウ 少

右水煎シヤクエン し服ヒツボク ス

○風邪ブウヤウ ヒラセメ眼エン 中アカキ筋スジ

1テ及ヒ黒眼コクエン ニ入モノハ肝肺カミホ ノ

二藏ニザン ニ風邪ブウヤウ 有リ 之

來白カイハ 中木賊モクザク 大菊花カクハ 大

薄苛ハグカ 中柴胡サイフ 中

石膏セキカウ 小升麻セイマ 中

山梔サンボク 中草翦カクシム 少

或云此証オカルタシヨウ ニハ黄連解毒湯カクレンカトクヤウ 主ヌメル ヲ

黄連カクレン 一分黃芩カクゼン 一分

山梔サンボク 各二支

○飲食二傷イニシヤウ ラレ努後ラク ノ眼エン クラ

ク内瘡カナウ トナリタルニハ

芍藥カクテイ 大黃柏カイハ 大

葛根カクシン 小黃芪カイギ 中

人參ジンセン 中

○蔓荆ジンセイ 小 茉莉ヨリ 少

○腎水ジンスイ カレツキ 形ツカレ 漸ク

眼クラク 成タルニハ

人參ジンジン 小

麥門カモントウ 中

當故カタゴトキ 中

右水煎スイセン ノ服ス或ハ六

山藥サンヤク

茯苓ブラン

右末ツヅク ノ蜜ミツ ニテ丸ジ淡湯サヨウ ニテ用

澤泻ツルエキ

澤泻ツルエキ

○常ニ氣サカノボル人眼中ムチドウ 翳

生地セイジ

熟地ソウジ

右或ハ川芎カクヨウ 调散主之

川芎カクヨウ

細辛シキシン

右末ツヅク ノ食後ニ茶ニテ服ス

出ルニハ

細辛シキシン

荊芥キンセイ

白木ヒバ

右水煎スイセン ノ服ス或ハ香蘇散カクスカン

防風カクホウ

○常ニ心氣ウツケツメ膜出モモク テ潤ラ

菊花キク

川芎カクヨウ

陳皮ジンピ

青皮セイピ

茶胡チャコ

防風カクホウ 小

薄荷ハクバク

白芷ハイヂ

川芎カクヨウ

細辛シキシン

心氣ウツケツメ膜出モモク テ潤ラ

出ルニハ

細辛シキシン

荊芥キンセイ

白木ヒバ

防風カクホウ

黃芩カクジン 小

生地セイジ 大

甘草カンゾウ

荊芥キンセイ 各兩

防風カクホウ 二錢

細辛シキシン 半兩

川芎カクヨウ 一錢

右末ツヅク ノ食後ニ茶ニテ服ス

出ルニハ

細辛シキシン

荊芥キンセイ

白木ヒバ

防風カクホウ

黃芩カクジン 小

甘草カンゾウ

薄荷ハクバク 四兩

慈活シツハク 各一

心氣ウツケツメ膜出モモク テ潤ラ

出ルニハ

細辛シキシン

荊芥キンセイ

白木ヒバ

防風カクホウ

川芎

薄荷

枳實

防風

菊花

加味主之

金門ノ相火ツキ上リテ眼ア

川芎

薄荷

カクイタムニハ

知母

黃柏

甘草

右水煎メ温服ス

○血熱シテ眼ニハカニ赤ク痛ニ

杜丹

一分 生地

芍藥

紫胡

二分 茜草

芍藥

右水煎メ服ス或ハ三黃圓ニ禁

胡ラ加テ用テモヨレ

雜治外瘻

○眼ニ疣ツヅルフアリ大豆虫
ラ採テ黒ヤキニノ胡麻ノ油ニ

テ子リソノ目疣ノサキヲ引刀
メ右ノ薬ヲ付ルナリ

○鹿ノ血人ノ眼ニ入ハ眼癰ス
ルモノナリ猫ノ毛ヲ黑燒ニメ

乳ニテ解テ点スルガ佳也

○瞳子ニ穴テキテ深ク穴ノメ
クリニ外瘻カ、リタル証アリ

内藥ニハ敗毒散サレ藥ニハ

白石

一分 瓢子

三分 天石

滑石

射杳

蛇骨

右末ノ用之

○病目イヘカタキニハ熊膽ヲ
婦人ノ乳ニテ解テ点ベレ

○眼ニ腕ノ如ナル物卒ニシテ

眼

二分

物卒ニシテ

睛ニ包ムト有ニハ引刀ヲ以テ
血ヲ出レ或ハ生ル水蛭ニ血ヲ
スハレメテ

塩砂一 分 檀腦少 蓬砂少 磁石

丹砂

草燮各一

射箭少

右赤メ点ズベレ

○眼ニ星アリテ瘻カタキニハ
朱砂丹砂ニ味ヲ赤メ婦人ノ乳

ニテ解星ノ上ニ点之

○擦推眼ニハ雞冠ノ血ヲ乳ニ
テトキ点之或ハ鐵裝ト筋ツヅノ葉

ノ橘汁ト等分ニ合メ可点

○眼ニ惡血ヲクレテ瘀アル

ニハ竜腦ラ赤メ乳解テ点之
○爛目タマメノスリ藥セキカク 壓砂一 分
青藥セイヤク 右赤ノ乳ニテ解テ点之
○眼風毒タマメニ中レハ必ス眼大ニ
ハル、者也モジカシ 白藜シロヒキ 杏仁エドカキ
桃仁モモカキ 燒鹽キヤウシナ 右赤ノ乳
解テ眼上駁カタマリ ノヨビ顔ニスル也
○目瘻タマメラ治スルニハ引刀ニテ
黓血タマメラトリテ膚辟カブツハク 膚石カブツシラ細
末メフリカケテ佳也
○疮瘻サカウカナカハ瘻タマメタレヒ星モジカシ
コリテ退カサルニハ
蛇骨カブツ 角石カクセキ 天石テンシキ 天石三分
右赤メフリカケベレ

○一切ノ諸眼ニ星アリテ除サ
ルノ年久シク諸藥効アラサル
ヲ治ス石燕子ノ貝子ヲ管ニ入
スリ破テ皮ヲサリ溶ミトノ点
之ニ妙ニ有驗

○洞多ク出テ留ラサルニハ
白丁番ヲ細赤ノ乳ニテ解熱之
○疳眼ニハ鮮ノ臍ニ白輕ノ加
ヘ調合ノ客々トメ点ラ其有驗
○雀目ヲ治スルニハ雞冠ノ血
ヲ日ニ乾ソ射杏少レ加ヘ共ニ
赤ノ乳ニテ解テ点之傳二曰此
藥内瘡ニ用テ奇効ヲ得タリ
○眼率ニ痛テ何トモ堪カタキ
の眼率ニ痛テ何トモ堪カタキ

ニハ早ク藥ヲ以テ療治スヘシ
白丁番 天南星 桂榔粉

右細赤ノ点之

○下目差別

樞要

三

自眼ニ紫色ノヘチ出テ黒眼ニ
入テ其力タチ浮雲ノ如レ治之
ニハ竜腦散ニ金薄ヲ加ヘ竜腦
ラ倍ノ眼ノ癧ヲトメ潤ノ出ル
ラヤメ大小背ノ癧ヲ痊スベレ
ラ或ハ下月ト星トジハリ出ル
トキハ真珠散ヲ用ユ健レ下月
ノ藥ヲ多分ニモチヒニノ餘ノ藥
ハ少分ニ用ヒヨ又龍腦散モ佳

○膜差別

内瘡ト膜上交ルトキハ明上散
ト九種龍腦散ヲ用ユベレモレ
膜カユク赤キ膝タカク出ルニ
ハ強染ノ鱗ヲモナヘシモレ爛
アラハ青藥ヲ加フ若疼痛ア
ラハ舊更ヲ加フ

○下目内瘡間出差別

下目内瘡ヲ患フルノ人ソノ眼
性虛弱ナラハ朱砂丹ノ二味
ヲ用ユベカラズ宜シ九種龍腦
散ヲ用ユベレ又内瘡ト下目ト
外瘡トヘハリ出ル証モ又如是
三証トモニ九種龍腦散ヲ可用

○内瘡秘術

内瘡ノ一ツ、之縣内瘡ノ五ヶ月
ヨリ前二見ルモノナリ其形四
方ヨリ臍脇サレツミリ黒眼ス
ホニアガルモノ也其時脉ヲヨク
見ワケ候ニテキリ代赭赤石
辟石財石ホノ鱗ヲ用ユベレ如
是ノ四七日ヲスグル時ハ半ハ
イユコレハ臍ノ鱗ニテ見ヘ
カル也モレ又療治ナカハノ
時膿ノ如クナル玉ノ出ルハ治
シカタレ如ソノ臍青色ナラバ
治シヤスレ
或ハ又外瘡ナフソノ内瘡ハ

ニゴリテ視ユル者ハ治レ易レ
或ハ瞳子ニ瘡青黒ニ發ソソノ
発スルトキハ水輪ナフノ後ニ
水輪大ニ開モノハ治レ難レ
或ハ又ウハ皮ツ子ノ眼ノ如ク
清クレテニ三重底ニ水輪ニラ
イテタトヘバ遠處ノ池水ヲハ
ルカニ見ルガ如レコレハ疵目
打目等ノ謫カクノ如キノ内瘡
ヲ發スルナリユレヲ治スルニ
ハ懸切ヲ以テ四ガヨリ切サキ
強盜ノ指撃ヲ点ズヘシモレ四
方ヨリ懸切ヲ用ヒズレハ何ヲ
以テカコレヲ治セシヤ是ハ皆

青内瘡ノ症也故ニコノ症ノ眼
ソノ口青レ
黄内瘡ノ口ニツ初ニ黒眼ニ淋
水ノ如クイカニモ白物アラハ
黄内瘡ト意得ベソノ白物ヲ
スクナルニレタカツテ白眼ヨ
リ半月ノ如クニ内瘡ノ黄色ナ
ルヲアラハスモノ也モソリノ
黄色瞳子ニ満サルハ治スヘレ
モシ瞳子ニ満ルトキハ治スヘ
カラス鍼ヲスルニロ傳アリサ
レグスリニハ

白石
蛇骨
雀子
天石

滑石
眞珠

眞珠
天石

射杏セイエイ 右末メ蜜ミツヲ以テ練リョウ

針ハリヲ立タチテ後アフタソシテ点アカシスヘレ

○中瘴口訣

中瘴ナカシヤウノ形ハラフ瞳子ミツコノ上アベニ雪霜セキショウヲ
ツムカコトシ白シロキトシテ膜オホト星ヒツキ
トアリソノ臘ヒツキト星日ヒツキヒマツヲカサスレ
ハ寃ヨシシトメウセルモノナリモレ
医療イリヤウアシケレハ白シロキ物居シロキモノミトメ
サリカタシ唯シテノ証シテハ係切シキツラニ
テキリサキサシ薬クルマツニハ眞珠散ミンジュサン
ニ天石アマクラヲ加スルテ点アカシ之ミツモモ星ヒツキシリ
ソキ去ハシマリハ宜ヨロシク燶鑑ヤキキクヲ用スルユベレ

○疵月口傳

疵目カミメノモシ眼メガネヲチフハククト

キハ疼ヒリイツルモノ也或ハ癰ハラフ生
スルアリモシテ蒸スルアラハ
駄タダノ外ニ竈ヒロク炮鑑ボウカンヲ用スルユヘレ
杏仁白輕膏帶エドヒナホウキントウホメ乳汁ロクジヲ以
テ子チリ指ハサウエレ入杏蘇散エドソクサンヲ一七
日アタフヘシ

○輸彤口傳

點眼カミメノ端ハラフヨリ彤輪ヒンルノ如ク圓滿ヨシミ
シ又ハ半月シヂコトク出ル者モチキアリ
ソノ月輪圓滿シヂヒンルスルモノハ治ハセレカ
タキ諭カタハシナリ半勝シヂノ如クナルハ治ハセレ
シヤスキ証カタハシ也或ハハシメ半勝シヂノ
治ハセカタシテ後アフタニ滿月シヂノ如クナルハ
治ハセカタシテ早シク半月シヂノ如クナルハ
治ハセカタシテ後アフタニ滿月シヂノ如クナルハ
治ハセカタシテ早シク半月シヂノ如クナルハ

スヘシコシラ治スルノ法ハ宜ク
眞珠散ヲニテ七日用エヘシモレ

治避半ニテヨハ、燐鑑ヲ用イテ
白眼ト黒眼ノサカヒラ灸當ヘ

○白眼地血不退治法

白眼ノ地ノ惡血レリソカスシハ
宜ク燐鑑ヲモチユヘシ眼ソヒラギ
カヘシテ眼ノセトヲ鮮アツヘレ

○黒眼出物口訣

黒眼ノ出物ハ參ツフノ如ク黃
イロニスボニアガル也ソノモトヨ
リ中ホドニイタリテハ血アリ其
赤ハ水アリ是ヲ治スルノ法ハ
ソノ赤ノ水ノ處ヲ銀針ニテ横

ニコレヲ刺裏ニツラスカヌヤウ
ニ水膿ラトルヘレ又出物ノ本ノ
ハリニ引刀ノ血ラトルヘシ指薬
ニハ薬力ノ強盛ナルヲ專トス

○釣臍口傳

釣臍ハイクタヒモ割之テ白蠶散
ヲ用エヘシ次第ニ少ツ、削之テ
薬ヲ点スヘシ治ナカハナラハ係
切ヘシ燐鑑ノ口見合ニスヘレ
惣ノ病人壯人ナラハ燐鑑モ多
ク當ヘシ引刀係切モ猶是老人
ナドノ氣体虛弱シタルニハア
下リ多クハ當ヘカラサルト也

○藤臍口傳

早朝ニ温湯ナラジニ洗藥ラ以
テ眼ノ瞼ニ灌キテヤハラケ開
クヘレソノ後燻鑑ニテヤクヘ
レカケ藥ハ朝晝タニコレラ用
ユベレ懸切ツヒテ地ノ惡血ヲ
サル」一七日ニ三度ニ及ヒソ
ノ後三日ラキテ熱鑑ヲ用ヒ又
一七日ラキテ内藥指藥西機ニ
アタフヘシ

○眼内出来物更
土肉目蛭目菌下目等ナリイツ
レモ引刀ニテ血ヲトリ熱鑑ヲ
用テコレヲ治セヨ

○目胞更

上眼ノウチニ出テソノ形大豆
ノ如ク堅キ者ナリ治法ハ引刀
ニテコレヲ破熱鑑ヲ用エベレ
一説ニ云是ハ眼翳ナリト或ハ
又ソノ紅ナル」鳥ノ膽ノ如レ
○外瘡更

外瘡ノ病因ハ多クハ瘍瘡ナド
ノ餘毒眼目ニトニリテ外瘡ト
ナリ年々ニク退ズノ障ラナス
也水銀フスリ末メ点スレハ星
外瘡タナニチニ消失ナリ
○瘡目邊生瘡更
何トモナキ眼邊ニカスムト苦
シカラサル」也世人コレ見テ

内瘡ト名ヅクレ氏必レモ然ラ
ス是ハ腎ノ藏風毒ニ感スレハ

如是ノ症トナルナリ指藥ニハ明
上散内藥ニハ杏蘇散ヲ用ヘレ

○常眼生火更

何氏ナキ眼ニ卒ニ火出ルヲ有
是ハ也目ノ謂ナリ竜腦散ニ金
薄ヲ加ヘテ点之打目ノリヤウ
チラ專ラトスヘシ

○常眼生瘀更

何トモナキ眼卒ニ疼出ルヲ有
白芷湯ソノ外疼ノ止ル藥ヲ用
ユレ丘疼ナリソカサルトキ本方
十八味龍腦散ヲ用テ妙ナリ

○常眼大小眦膜出更

何トモナキ常ノ眼ニ卒ニ大小
脣ヨリ膿洞イツルヲアリ是証ハ
初十ニ疮瘻ヲ患テソノ餘毒肝
心ノ間ニ止リ今眼ニ發生スル
ナリ療治口傳アリ

○諸眼霞更

ソレ諸眼ノ霞ニハニツ流氣飲
ニ模模子大黃ヲ加ヘテ用ユ

○白黑花更

眼ニ花ノ散乱スルト内瘡ノ基
ナリ流氣飲補眼飲ヲ用ユ口傳

○黑眼鶯更

黒眼鶯ノ實ノ色ノ如ニメ箭十

ク外瘡廻ノハニツ頭下ヲアタ
一引刀ヲ用ヒ懲鑑ヲアテカケ
藥ヲ用ユベレ口傳アリ

洗樂

四

清眼湯

藤膜薰膜等ノ洗藥

當白

蓀波ヒラシマ 胡連ウラニ

芍藥

葛筍カズラノリ 各一又

右水

二盃入一盃ニ煎ジ眼上臍

ヲ洗フヘレ

万金湯

一切諸眼ノ洗藥

當白

芍藥ヒラシマ

地黃チラウ

秦皮

楊柳木皮ヨウリュウモク

杏仁キザクラ

草决明カモミル

黃連ヒラギン

甘草カムフラ

山梔

蘇木ソクモ

黃柏ウラガク

右煎じ洗フ

解毒散

田盤タマニノ眼赤ノ腫ツイ治

黃連

當白

芍藥

洗肝湯

肝大過オカシノ腫ツイ治

川芎

黃連ヒラギン

秦皮

黃柏

當白

甘草カムフラ

右等分二合セ煎じ洗フヘレ

菊花連施湯

諸眼爛目等カロコ治

黃連

山梔カモミル

薄荷ハクモク

沉香

防風ボウフウ

荊芥キンセキ

菊花

甘草カムフラ

右煎じ洗フヘレ

一方

卒ニ眼煩熱ノ潤多出ニ

黄連ノ煎ヲテ眼中ハ灌ベレ

一方

病目血多ク疼痛スルニ

黄柏少々

蒿霜三分

白芍三分

右煎

シ紙ヲ以テ漉イダレ再ヒ

アタメ洗フニ甚妙ナリ

金藥五

治眼膏

肝ノ藏風毒ニ感ジテ

眼赤ク腫ルヲ治ス

桃仁各一

杏仁各一

白芍三分

燒鹽少

右スリ合乳ニテ練眼上眼ニ塗也

明礬煎

眼赤ク腫開キ難ノ治

草决各等分

右煎シ黃連ヲ粉ニノ搅ヘセ眼

上眼ニ塗ニ甚效アリ極秘ナリ

青藥散

タバレ目ヲ治ス

丹礬收

青藥三

牡蛎分

樟腦五

右乳ニテ練眼ニ塗眼中ニ不入

一方

諸眼惡血多ク甚腫ヲ治

右末ノ乳ニテ子リ眼ニ塗也

一方

病目風眼等ノ諸眼冥キ

ガタキヲ治ス

杏仁二

臍帶一

明礬二

右末ノ乳ニテ解眼ニスル也

一方

眼塗ヲ治ス

青藥

蓬雪
名木分

右調合ノ目中へ不入眼ニ塗也

咬齒

六

鉢鍼一一切病眼惡血多キヲ治ス惣メ熟金引刀ナドヲ燒フ人ニ用之

角石ノ金隨角ヲ竹ノ皮ニテ卷火ニクベ燒黃百ノ煎レ湯ニヒタシ其ノチトリ出レ又再ビ燒紙ニテ包三ソノ切口ヲ顯メ惡血ノ所ニアテ轉ノトリテ見レバ惡血リノ角ノ切口ニ付テ出ル者ナリ重テ用ニハ切口ヲ新ニメ當ヘレ

惡血多ハ上下ノ脈ニモ當ヨ

川芎湯

蘇藥

七

藤膜簾膜等ノ諸眼治

川芎

白芷

各一分

人參

川芎

芍藥

各一分

黃連

三分

右末メニ久ラ煎じ袋ニ入テ眼

上糊ニアテ燒ナリ

黃連湯

膜目中瘡虫膜爛目外

瘡一切ノ病眼ヲ治ス但し風毒

眼ニハ

當歸大

芍藥

中

丁子少

五枚

黃連

五分

黃芩

中

柏葉

五枚

右天目ニ水ニ益入一益ニ煎ジ

三

四

五

六

七

ソノ鍋ニ切蓋ヲ合セ蓋ノ正中

ニ筒ヲサレハテ蒸ヘシ口傳

一方 治症前二同レ

薰連

薰芩

榧葉

右煎燶ノ法同前眼

アカク肉ヲ
オクハ眼中へ息ヲ不入口傳

黄連治翳湯

黃芩

大薦

黄連

黃芩

榧葉各等

右煎じナルホト温クノ器ニ移し
蓋ヲメ息ヲコメリノ蓋ノ正中

ニ穴ヲアク其穴ニ竹ノ筒ヲサ
レイレ其竹ノ筒ノ穴ヨリ息ヲ

出シテ眼上眼ニアテ、蒸ベレ
シテ眼上眼ニアテ、蒸ベレ

右ニロ傳ト云ルハ此事ナリ

金山寺澄

澄藥

八

石骨

一兩

白礬

少

寒水

三錢

蓬砂

一分

射香

少

真珠

一秉

龜腦

少

右細末ノ魚子ベレ

蘆岩散

一錢

諸眼ヲ和ケ血ヲサリ

爛ヲ瘻レ一切ノ壁ソノ外讐ノ

濁眼ヲ澄ス藥ナリ

蘆岩

一分

斛石

一分

真珠

少

辰砂少

鹽砂少

龜腦少

右細末ノ蜜ニテ繖テ点ズヘレ

モレ疼アラハ白丁香ヲ加ヘヨ

目瘡ニハ白礬ヲ加フ

寒水膏

諸眼ノ瀝藥

寒水

辟膏

竜腦一分

辰砂

塩砂一分

射杏

右細赤ソ蜜ニテ練点スベシ

白梅散

一切ノ病眼ノ瀝藥

炉岩

蛎石

寒水

射杏

辟膏

竜腦

右赤ソ蜜ニテ練点スベシ星アラバ天石ヲ加フ濁多キニハ真珠ヲ加フ

鱗子

諸眼惡血ヲ、ク星アリ

外障アリ膜アリテ諸藥効ナキ

射杏

辰砂

寒水

ホトノ甚レキ病眼ヲ治ハソノ

外一切ノ登藥ナリ大秘方也

名膏

蓬砂

竜腦

右蜜ニテ練点ズ

大明散

諸ノ病眼ヲ治レヨク

潤樟

ラノソク聖藥ナリ

寒水

炉岩

蓬砂

名膏

生腦

竜腦

射杏

右赤ソ蜜ニテ練点スベシ

紅毒散

方論前二同じ

竜腦

青石

辰砂

寒水 一分

炉岩 三分

龜辭 一分

右末ノ蜜ニテ練点ズヘレ

真珠 二末

真珠散 諸眼ノ霞ヲ晴ス澄葉

龍腦 一末

真珠

寒水

蓬砂 各二分

辰砂 加減

炉岩

右細末ノ蜜ニテ練点ズ

清明丹 諸病眼并血多ヲ治

龜腦 一分

炉岩 一分

寒水

樟腦 五分

朱砂 二朱

右末ノ蜜ニテ練点ズヘレ

麝脑方

九

支頬ヲ齶レムルトハ厚外瘡藤膜ソノ外釣膜等ノ障礙ツヨキ眼

ニハ用ユタリニ此ヲ用ヒハ却テ眼ヲ損スルトアラシ可慎

金玉丹 諸翳膜多ク或ハ星火

瘡等ノ障ヲヨク除ク蘇ナリ即クチ紫ナリ

辰砂

丹砂

蓬砂 各一分

則石

天子

天辟 一分

右末ノヲキサテ木賊柴胡升麻

右三味ヲ等分ニ合セ水一升ニ煎レ一合ト成テ綿ヲステ濾出

ニ練カタメテ右ノ六味ノ石紫

ヲトモニ調合メ迄麻子ノ油ヲ入蜜ニ調エユルクトノ大嘴ニ

粟粒ノ大サニメ点ジ青木葉ヲ

ノテ眼上ヲ覆テ一筋ヲ經テ明

ル目畢輔ニ清明丹真珠散等ノ

蘇ノ用エベシ清明真珠末方見流赤之部ニ

五金膏多外瘡順醫シ膏テカス

聖藥ナリ口傳多キナリ

竜腦二分

射杏

樟腦

真珠

辰砂各一

天南一分

右赤メ蓖麻子ノ油ニテ練点ス

ルノ前ノ如クスロ口傳アリ

虎眼散

一切ノ外瘡シ膏ス方

生腦二朱

龍腦一朱

丹砂半

辰砂一分

朱砂半

天石一朱

右赤メ之ヲ点ズル一三七日ニ

及ヘハ膿ノ如ク膿イツルモノ也
ソノ後真珠散等可点

圓壽五金膏

ヨク外瘡醫膜ラ

膚ラス巖上ノ糸ナリ

風毒眼病

目ニハ大ニ戒ムベシ唯藤膜釣

膜等ノ眼ニ宜ク可用之口傳

沉膏二兩

黃連五錢

地黃二錢

白朮二錢

木虧三錢

首錢三十文

右粘ノ如ク煎レ左ニ記ストコ

ロノ呑業ニ調合スヘレ

竜腦一朱

射杏一朱

珍珠少

天南三分

辰砂一分

黃丹一分

右赤メ前ノ藥業二合セ蜜ヲ以テ
テ免蘇みノ油ニ調ヘ合ノ可点

通治

竜腦散

一切人病眼寒熱ヲ論
セズ虛實ヲ不問血眼無血眼外

瘡内瘡中瘡

膝膜風毒眼等ヲ治

龜腦散

射箭

白礬

塗散

石膏

辰砂

蓬砂

射齒

真珠

赤砂

雀膽

黃丹

角石

代赭

根石

清咽丹

薰膜輪月形膜天瘡外

諸眼五品ノ内瘡ソノ外

一切ノ翳膜

病眼ヲ治人方澄茶ノ部ニアリ

丹砂

蓬砂

紫金膏

風眼病目一切ノ翳膜

并ニ諸瘡ヲ治ス

龍腦

麝香

炉岩

右細末メ黃連ハ防風

丹砂

生腦

ニ分芍藥ニ分バ粘ノ如ク煎ジ

火石

丹砂

ノ証ニテモ治セズト云フナレ

竜腦

射箭

生腦

爐石

辰砂

丹砂

牡蠣

蓬砂

貝石

石膏

寒水

白礬

白竜

鹽酸三分

右末ノ蜜ニテ練テ点スベレ外

瘡ツヨクハ角石真珠天辟ヲ加

目瘡ニハ白輕擦石ヲ加ノ丸取

刺月ニハ麒麟血賈子蛇骨虎肉

白石硝ヲ加フ内瘡ニハ石决明

草决明眞珠炒岩ヲ加ア老眼虛

眼ニハ真珠草决明石决明加フ癒

因ニハ赤石脂貝子白丁鳩虫骨

蘿子ノ加ア疱瘡月ニハ貝子蛇

眼虫採出

十一

眼ニ虫ヲ生スルヲ燭月血眼古

血膜等ニコレアリ是ハ肝ノ惡

火ヲ以テ燭ズベレソノ時頭ニ

厚キ衣ヲ覆テ煙ヲワキヘ出サ

ヌヤウニメソノ甡目ノ處ハ力

リヲ燭ヘレ必ズ頭黒キ小虫出

ル者也但し漬ト、モニ出也

惡血泻下法

十二

支眼ニ泻血ノ方ヲ用ルヲハ古

血膜氣逆上スル眼或ハ惡血甚

タ多キ眼等也惣ノ血多キ眼ニ

ハ先コノ方ヲ用テ後詮ニ隨テ

余ノ薦ヲ用エベシ

四三湯

七眼泻下ト世詮ニ是ヲ

テ

云ナリ 諸眼ノ惡血或ハ頭痛或

ハ月腋等ノ記ヲ治ス

杏附

當故

黃芩

黃連

桂枝

丁香

芍藥

大黃

沉香

枳椇

地黃

川芎

右ニ多ラ一貼トメ水

天月ニ二

盃入一盃半ニ煎ジニ缶ヲ水三

盃ハ一盃半ニ煎ジニ缶ヲ水三

盃半入一盃半ニ煎ジ三缶ヲ水三

盃半入一盃半ニ煎ジ四缶ニ水

四盃入一盃半ニ煎ジ足ノ如ク

七度煎ジテ一つニ合メ一七日

コレヲ与フヘレ

當故湯

足モ世詔ニ七服下ト

名ヅク諸眼ノ瞼翳一切ノ惡血

上ニ有テ頭痛ヲヨビ眼痛セレ

ムルヲ治ス

當故

川芎

右煎ジヤウ同前七度ニ及ブ

黃芩

肉桂

向本

大黃

木香

川骨

人參

治血圓

一切ノ病眼瞼翳ノノ

外惡血多クノ眼ヲ逼種シニキ

亥方化スル眼ノ治ス

大黃三分

黃芩一分

川芎三分

向芷一分

人參一分

當故一分

牛膝一分

枳椇一分

茯苓一分

白木 一分

甘草 二朱

右細末メ十々ニ巴豆一枚ヲ加ム

ヘ右ノ糸ト調合シ麥ノ糊ニテ

裹盛ノ大サニ丸メ火粒ツバム

血上ヲ逼テ頭痛心收等ノ調治

人參湯 諸眼ノ翳膜一切ノ惡

川芎 當歸

沉香 甘草 朱各二

白芷 黃芩 人參

芍藥 薑本

黃連 杏附

多キ人ニハ人參ヲ除クベシ

右煎ニヤウ同前コレヲ七服下

ト名ク秘方ナリ此方内瘡ニ用

ルアリ甚タ口傳アリモし血

多キ人ニハ人參ヲ除クベシ

右煎ジヤウ前ニ同じ及七度

桂心各一

大黃二分 話筋ノ如レ

肉桂 川芎

桂枝 黃連

川芎 各一分

據藥

黃連湯

七服下也治証前ニ同

黃芩

當歸

地黃連

黃柏

白芷

枳椇

芍藥

人參

川芎

肉桂

桂心各一

右煎ジヤウ前ニ同じ及七度

大黃二分

話筋ノ如レ

肉桂 川芎

桂枝 黃連

川芎 各一分

右 溫ナル湯ニテ振出入リ七度

已後煎之用ユ

九眼見分

十三

眼ハ血氣ノ所在ナリ故ニ肝心
血ヲ収出スレバ血氣滯ラズメ
眼疾ナシモし血ノ大過不及寒
熱虛實ニ因テ血脉經ニ滯レハ
眼疾ヲ生ズ故ニ知ス眼ハ必ズ
肝ノ藏ニ屬スト云フヲ或ハ又
血氣五藏ニ亘テヨク一身ヲ養
フ然則又五臟モ眼ニアリ

赤筋屬心火

冷遠志 石菖蒲 茄苓

熱門冬 黃連 地黃

赤胸苦南葵

火者魁金

小腸舌血毛

火者生火

黒眼属肝木

冷熱

細辛 阿膠 菊花

青頭酸東毒

木者冠生

膽腑眼筋爪

山梔 蝙蝠 天明

膽子屬腎水

冷熱

牡仲 鹿茸 茄苺

黑睛屬火北冬

水者克火

膀胱骨耳齒

水者生火

白眼屬肺金

冷熱

干姜 半夏 寒芍

白腰辛西秋

肉者冠木

大腸鼻皮息

金者生水

上下眼屬脾土

令木杏下子白檀

黃腹甘土用中

土者冠水

胃腑唇肉乳

土者生金

紫胡桃穀人參

五臟財障

古

- 水与金戰トキハ眼瘡ヲ生ズ
- 土与火水戰トキハ墮ラ生ズ
- 土与木戰トキハ外瘡ヲ生ズ
- 火与水戰ヘバ厚外瘡ヲ生ズ
- 土与金戰トキハ翳膜ヲ生ズ
- 水与土戰トキハ月輪ヲ生ズ
- 土与水寒ノ不和ナレバ内瘡

ヲ生ス

集陽眼論

十五

陰眼者眼筋クホカ也寒ナリ腎
ノ藏ニ屬ス補溫ノ齊ラ用ユベレ
陽眼ハ膜筋タカシ熱ナリ肺ノ
藏ニ属ス冷嗽ラ用ユベレ
或云洞溫ニメ出ルハ陽眼熱眼
ナリ泪冷ニメ出ルハ陰眼ナリ
冷眼ナリ
或云眼黃ナノ如クナルハ陰眼
ナリ治シ難シ即チ冷眼ナリ
或云大背ヨリ血脉出シハ陽眼
ナリ熱ナリ治シヤスシ或ハ心
火ノ實ナリ

小腎ヨリ血脉イヅルハ冷ナリ陰眼ナリ難治或ハ心火ノ虚也或云眼ノ薰ハコレ陰眼ナリ紅色ナルハコレ陽眼ナリ

或云上ヨリ障礙ヲ成モノハ是陰眼ナリ下ヨリ障礙ヲナス者ハコレ陽眼ナリ

寒熱辨義

附寒補熱湯矣

支眼ハ大抵熱ヨリ病リ寒ヨリ發スルトハ少し然ト雖凡一繁ニ論スベカラズ中瘡内瘡虛眼等ハコレ冷風ヨリ發ス腫而後轉變凡寒故其外ノ諸眼ニ又寒アリ尤ヨク其寒熱ヲ辨察シ後

傳云眼ハ大率熱ヨリ發スト雖に寒ヨリ發スル者モ又コレ有

ソノ色鷺ノ意仁ノ玉ノ如クナル者ハ寒也ソノ血色腕ノ如クナリハ紅色雞冠血ノ如ナルモノハ數ナリ

傳云寒ハ補シ熱ハ深入流氣飲補眼湯明眼地黃湯海螵蛸海螵蛸散菊花散等四物湯內瘡ノ諸中瘡虛眼等ノ葉ハ温トナルト有冷トナルト有深トナルトアリ補トナルト有時ニ從テ加ルニ依ヘレ但四物湯以下ハ多減ニ

ハニレ温補ノ藥ナリ

治不治辨論

十七

- 支治不治ヲ窮ルノ繼ヒ病目血
肉等ノ輕くニキ証ト雖トモ定
パンハ有ベカラズ況ヤ其余ノ
重キ眼病ヲヤ尤勝ニ隨テ治不
治ヲ定ムヘシ豫メ定メ難レ
○鈎膜モレ血筋瞳子ヲ大背小
背ヘ貧キ濁テ黒眼ノメグリ際
ナキハ必ス盲モノ也
- 膜筋ノ生ニ膜アリテ筋黃色
ナルハ不治
- 肉膜ニ血腫ニ入テ腫子ヒ
ラクハ治シガタシ
- 折骨内瘻トヌズル者ハ難治
- 水膜腫子ニ入ハ難治
- 外瘻厚ソ年月ヲ經ハ不治
- 蟹眼腫子ヲ破壊スルハ不治
- 疮瘡眼百日余ニ至レバ不治
- 疳眼虛ナル人ハ膜白黒ノ差
別ナシ瞳子ヲ覆ハ不治
- 心ニ甚々愁フ有テ後眼ヲ病
眼色カナラズ蟹ハ不治
- 雀目木炭已上ハ不治小兒治
- 土肉多メ血筋ヨコニ瞳ヨリ
貫キ大背小背ニ及者ハ不治
- 薰膜上ヨリ懸モノハ不治
- 諸ノ懸モノ上ヨリ障礙ヲナ

スハ除キカタレ

○風眼疼痛ヤサルハ不治

○風眼障ヨリ發スルハ難治

○瞳子ノ遠リノ皮一重ウチニ

光輪

アリテ烏睛ニ至者ハ不治

○眼ニ血勢アルハ治ス血勢ナ

キハ不治又血ノ色黒ハ不治タ

タ赤キハ治入

按ルニ諸眼ノ治不治ノ機發

ハ病眼ノ虚實時節ノ應變ラ

考テ次テ知ヘシ而後施治可

四季擾養

十八

○春ハ眼ノ養性シヤスレ故ニ内葉及ビ指葉數回ニ不至イユ

○夏ハ内藥ハ數貼ニ及ヘシ指葉ハ多ク用ヒ難シ七服下難用

○秋ハ春ノ養生ノコトク内葉指葉數回ニ及ブベカラズ

○冬ハ内外ノ兩葉數回ニテ治スベシ必陰氣ヨリ發ス故病甚

治ヲ施入ト専要ナリ

○肥白ノ人ハ必ス瘡アリ氣盛アリ血多アリ大黃蘇木紅花桃仁牛膝等ノ薬又三黃圓ナドラ

ステ血泻スルヲ正トス。ニ本陳

肥瘦分別

附虛實ナム

支眼病シ患ル人ニ肥タルアリ瘦タルアリ能ソノ肥瘦ニ隨テ治ヲ施入ト専要ナリ

○肥白ノ人ハ必ス瘡アリ氣盛アリ血多アリ大黃蘇木紅花桃仁牛膝等ノ薬又三黃圓ナドラステ血泻スルヲ正トス。ニ本陳

皮後フクモトタニ半夏ハナツ芍カキシシテ瘦スリムラ尊タケニ

氣エヲ補ハサフヲワギトス

瘦スリムノ人ハ血虛キヨウスルノ有アリ也

脾經寒ヒツキハシキ風ブン邪ヤク感カンレテ

血虛カクニ亂動ランドウセラレセラレ必マツリ故カズハニ四物

湯ヨウシ用ヨイテ血エヲ攝養セツヤクスルノ專セカリ也

虛キヨウ癥ヨウノ人眼病カキヲ患ハリフルトキハ

タトニ病甚カツカツトモ浮藻ハヤシタノ劑ザイヲ用

ユベカラス唯モチタク四物湯シシヨウニ加減カジンシ

用ヨウユヘレ血氣充滿カクシキノ人ニハ浮

藻ハヤシタヲ用ヨイユベレ眼病カキハ血氣カクシキノ所

在アリナレバ也タク但シしロ傳タマガシアリ

食
物宜禁

二十

蕎フコ蕎胡麻ハコモ大麥オオイ蕎粉ハコモ

千梅チメイ黑胡麻カクモ大麥オオイ蕎粉ハコモ

串柿カルダ五加ゴクヤ紫冬草シキタツタウ

櫻イチジク枸杞ゴキ半ハ串柿カルダ蘿ハコモ

鷄類トリ剪海鼠カミカニ串炮カルボ鷄トリ

鷄類トリ剪海鼠カミカニ串炮カルボ鷄トリ

豆膏フウツウ酒サケ海藻カイソウ餅ヒツキ

葫フグ蕎麥ハコバ酒サケ餅ヒツキ

豆膏フウツウ蕎麥ハコバ酒サケ餅ヒツキ

韭ヒハツ蕎麥ハコバ酒サケ餅ヒツキ

黑クマ鷄トリ鷄トリ餅ヒツキ

内外通禁ウチナウツウキン

音曲ヨウク嬪紀ヒメキ安酒ヤク湯遊ヨウユ遠エニ見ミ

根目明醫四

讀書リョクブ
溫熱ムンセツ

食物ブフツ
灸針キツツキン

盤上バンジョウ
煙中エンゾウ

溫服ムンブツ
思慮シスル

灸法キツツカ

大ニ

○風門ブウモン

上氣ノ眼赤暗エイシキノメガタクダムシソ治入

○三里サンリ

風門ニ灸キツツソ後瘡癰コウヤウタ

○後上氣腰翳コウジキウエイ

翳カツラニ灸キツツニ灸キツツニ灸キツツ

○肝俞カクヨウ

虛眼光カクヨウガクナキニ是完ニ

○灸キツツス惣ザブノ眼メガハ肝カクノ主トコロ也

○故ニ灸キツツニ灸キツツスルスルト多

○腎俞センヨウ

虛眼光カクヨウガクナク皮ハ内瘡カクヒ

○膏肓ワカルハ

瘻癖カクハヨリ發ル眼メガソ治入

○肺俞ハイヨウ

氣鬱カクニリ發ル眼病メガノビソ

○上星ショウジン

收或ハ翳膜カツモクノ出ア治

○後項コウヨウ

同前ドウゼン

○翳風カツモクフウ

右眼メガシ患カクヘハ左カミニ灸キツツ

○陶道タウドウ

翳膜又ハ脇カキア治入

○合谷カツカウ

小兒コトコロノ雀目カトリ痛カチア治入

○神道シンダウ

心氣虛カイキカクノ眼光無メガノミナシア治入

○小兒コトコロ

雀目カトリ及シテじ海眼カヒメガニハ手ハンドノ

大指ヨコ

橫文ヨコヒノ頭カブツノ廉カドノ左カミニ

灸キツツスヘシ蓋カバレ合谷カツカウニ灸キツツメミヨ

シカ

灸穴キツツカ

ナリ

脇ニ向テ仰ニ卧レス頭形ノ動
サズメ手ヲ以テ眼ヲ按ヘ針先

ニ唐墨ヲ塗テ白黒眼ノ境ヨリ
鍼ヲ横ニノ瞳子ノ通内瘡ノ真

中ヘ行ニヒ子リソ是ラ拔ハ

瞼安シ出ベレ其トキ射喬ラス

テ針ノ跡ニ灌キ必入眼ヲトヂ

塞カレメ濃紺ノ織ニテ眼周ラ

縛リ一宿ニ及バヘソノ紀縛

スルノ弱カラズ強カラズメ明

月ニ至テ弛ベレ一七日ノ闇色

ノ物ヲ觀ベカラズ或云茈蒿子

ヲ用テ研テ針ノ跡ニスレハ一

宿シ經テ瞼角ラ出トムリ鍼ヲ

立ルノ深サ五分ニ過ズ口傳有

或々大骨ノ側ノ白黒ノ境ヨリ

針先ヲ瞼ノ方ニ傾ケニ刺メ拔

切膜口傳

ニ高

瞼ヲ切ノ上下ノ眼及ヒ白眼ニ
紙ニテ血シノゴウテ眼ニ残リ
帶スヤウニスベシ又白眼ニ薄
膜覆ノ有テ其下地ニ又膜ノ脉
多ク有ハソノ多キ脉ヲ切ベシ
此口傳ヲ知バメ妄リニ眼ヲ損
ベルノ多シ或ハ又カノ誕ニ血
筋アラハ其血膜ノ多ク出タル
者ヲ削ヘレ是ラ血膜ト名ヅク

血脉七分

二七五

支血ノ通フ脉ヲ切フ大事ノト
也所以ハ經曰眼得血能視然ル
トキハ唯血眼上氣膜等ノ外邪
無ソ血筋多キハ實眼ナリ切ヘ
ニ唯風眼ノ類病同等ニハ甚禁
之ニツ血脉大骨小骨ヨリ大小
ノ筋出ルヲアラハ先ソノ小筋
血脉ヲ白黒ノ境ニテ切ベシ重
切レト思ハ、十二日ヲ經テ
切ヘルシ若脉ノ小ナル者ヲ切テ
切ヘルシ若脉ノ大ナル脉ヲ切ベシ
退スンハ大ナル脉ヲ切ベシ
ロ傳其脉ノ切口ニ鍼スベシ

血眼取血法

二七六

何ノ眼ニテモ血余アラバ眼ノ
上々ノ眼ヲヒキ回シ其眼ノ裏ニ
横サヘニ引刀スベシサテヨク
血ヲ拭ヒ捺テ後引刀ノ跡ヲ舌
ヲ以テ舐テ見ルニ黃赤ノ色ア
ルハ重テ又引刀スヘシ唯赤色
アルハ重テ引刀ヲ用ヒズ
傳云麥ノ糸ノ長ニテ眼ノ裏ヲ
引ハ血出モノや引刀ノ如レ
又風毒眼ニ血多ハ大変ノ者也
ヨタ慎ミ恐ルベシ

溫熱鍼事

二七七

溫金ハ諸眼ニ用ヒヨク血ヲ去
眼ヲ和ス但レ風毒眼等ノ外邪

ノ眼ノ血氣盛ナルニ是ヲ用レ
バカエリテ血ヲ倍腫ヲ生ジ疼
ヲナスモノヤ
熟鍼ハ脉膜筋ノ切口ニ當ル文
又ソノ外ニ用ルノモアリロ傳
アリ又風眼ニハ禁ヘレ若訛テリ
是ヲ用ユル時ハ惡一右ノ如シ

眼目明鑑卷之四終

又風眼二禁へニ若武ノ
是ノ用ニ此ハ恐ニ外ノ事也

脉略卷之四

